

活動スナップ「2016年6月~10月」



6月19日 県政報告会(世知原)



地域の声を
集めて県政へ
届けています。



7月26日 須佐神社夏祭り



8月30日 議運メンバーで熊本県を視察



9月14日 佐世保の女性起業家の皆さんと

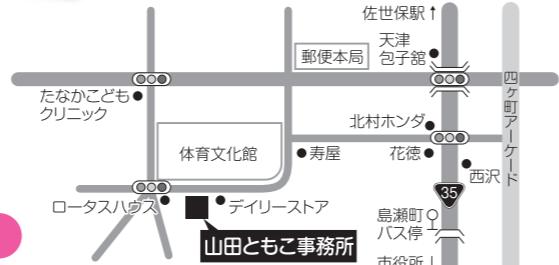


9月25日
小佐世保校区グランドゴルフ大会

発行:山田ともこ事務所

〒857-0805 佐世保市光月町8-20
TEL:0956-37-0058
FAX:0956-37-0078
Mail:office@yamadatomoko.com

皆さまの声をお聞かせください!



8月11日 佐世保子ども食堂ネットワーク



8月24日 三川内お地蔵様祭り



8月28日 全日通労組長崎定期大会



9月18日 各地の敬老行事に参加



9月25日 江迎町根引地区の皆さんと



10月11日 佐々町熊野神社秋季例大祭



10月23日 波佐見町に女性議員が誕生

長崎県議会議員3期目・会派:改革21

山田ともこだより

No.27



発行:山田ともこ事務所
2016年11月発行

9月16日、県政一般質問に登壇。
現場の声から課題を見出し、政策を提案！

《ご挨拶》対話を力に、ぬくもりのある県政を目指して

●日ごとに寒気加わる時節となりましたが、皆様方にはお変わりなくお元気にお過ごしのことと、心からお喜び申し上げます。子どもの成長は早いもので、私の息子もこの春、高校へと進学。さらに、県議会では文教厚生委員会から環境生活委員会へ所属が変わり、加えて議会運営委員会にも所属することとなりました。

「ガラスの天井」を突き抜ける

●先日行われた民進党の代表選挙において蓮舫新代表が誕生しました。日本は、世界経済フォーラムの男女格差指数で145カ国中111位、女性議員が数少ない国でもあります。そんな中、アメリカでは「ガラスの天井」と人生をかけて闘ってきた女性が大統領となる一歩手前まで来ました。イギリスでもサッチャー首相以来の女性党首が選出され、欧米のみならず、韓国や台湾も国のトップは女性が務めています。さらに日本でも初の女性都知事の就任が話題を呼び、全国から注目を集めることとなりました。

地域から「みんな食堂」をスタート

●近年、日本国内において子どもの貧困が大きな社会問題となっています。そこで、子どもや高齢者まで幅広い方々に温かい食事の提供し、楽しく交流を深めることが出来る「佐世保みんな食堂」が佐世保市中部地区を拠点にスタートしました。この取組は、様々な分野の女性有志によって運営され、私も発起人の1人としてお手伝いしています。今年7月21日(木)には中部地区公民館にて第1回佐世保みんな食堂を開催し、その後、月1回のペースで開催中です。

引き続き、県政推進に全力

●私は、弱い立場にある人をいたわり、ぬくもりのある政治を目指します。そのためにも、たえず県民の目線で地域に寄り添い、日々活動に取り組む決意です。今度ともご指導の程宜しくお願い申し上げます。

長崎県議会議員 山田 ともこ

山田 朋子(やまだともこ)の略歴

《おいたち》

- 昭和47年4月6日生まれ(現在43歳)
- 佐世保市立小佐世保小学校、佐世保市立旭中学校
私立聖和女子学院高校、佐賀短期大学食物栄養学科
- メーカー系商社に勤務したのち、
平成16年より山田正彦(父)衆議院議員秘書
- 平成19年 長崎県議会議員初当選
(任期中に乳がんを患うも手術・治療を経て職務復帰)
- 平成27年 長崎県議会議員3期目当選

《現在》

- 長崎県議会議員(環境生活委員会・議会運営委員会)
 - 防災士 ○保護司 ○社会福祉法人親愛会理事
 - NPO法人だるま会理事 ○NPO法人葵会理事
 - 学校法人聖和女子学院評議員 等
- 自宅は佐世保市須佐町、息子は高校1年生



インターンシップの学生と一緒に

[2016年8月10日]

- 山田事務所では、毎年春と夏、議員インターンシップの学生を受け入れ、一緒に様々な活動を行っています。今年の夏も公務員や政治家を志す10名の長崎県立大学の学生が一緒に様々な活動を行いました。



地域の要望を県に伝える活動

[2016年7月1日]

- 安心安全な通学路の確保の為に着々と工事が進む佐々町市瀬地区の歩道。この他にも地域からの要望やどんな小さな相談でもすぐに駆けつけ、現地を視察し、住民の声を行政に届ける活動を行っています。

防災対策、子どもの貧困、県民のいのちを守る取組み

現在、民間のNPO等でフードバンク、ファードライブの取り組みが広がっている。そこで県の災害備蓄物資の保存期限満了による入れ替え分を廃棄処分の前など、再活用を検討すべきである。

自治体備蓄品の再活用

【答弁】危機管理監
福祉施設関係者と一般市民の間ではなく、ご指摘のような方々にも防災知識を習得してもらうことは非常に望ましいことなので、積極的に受講していただくよう努めたい。

県が年2力所開催しているのにに対し、大分県では年に8力所開催している。本県も開催箇所を増やし、広報も充実していくべきではないか。

【答弁】危機管理監
今後、開催回数を増やすことを含め養成講座の充実強化を図りつつ、地域防災力の向上に資するように努めていきたい。

県道佐世保・世知原線は、世知原町と佐世保市大野地区を結ぶ最短ルートである。県は平成26年度に板山トンネルの新規事業化を決定した。地元では一

板山トンネルの建設促進

【答弁】子ども政策局長
現在、国において子どもの貧困率に関する調査手法等の研究が進められている。貧困の実態や施策の効果等を検討評価する上で、自治体間の比較も可能となる手法が効果的であることから、国が行う調査研究の結果を踏まえ、必要な対応を行いたい。

【答弁】子ども政策局長
国は子どもの貧困率を世帯の所得に基づいて算定し、子どもたちの貧困に関する調査は、他県の先行事例も参考に、ファードバンク等への利用も検討したい。

【答弁】福祉保健部長
今後、入れ替え際に有効活用を図るために防災訓練での利用を想定しているが、他の自治体の先行事例も参考に、ファードバンク等への利用も検討したい。



県庁正面玄関にて、一般質問を傍聴して下さった皆さんと
(平成28年9月16日)

— 議会での「一般質問」とは？ —

●県政全般にわたる政策論議です。

質問する側（議員）も質問される側（県）も共に十分な準備が必要なため、通告制が採用されています。議員は質問の構想を練った上で要旨を通告し、質問の原稿を作成。県も通告の内容に万全の準備を整えて的確な答弁ができる体制を構築します。県民の声を聴き、政策課題を掘り下げる、全国の先進事例や現状を研究しながら課題解決に向け政策を立案し議会で提案します。議員にとって非常に重要な機会です。



平成28年9月16日
県政一般質問に登壇、政策提案を行う

— 県が新たな方針表明、山田の議会提案が実る —

災害派遣福祉チームの設置

熊本地震では、岩手県、京都府のDCAT（災害派遣福祉チーム）や、民間の福祉施設のDCATが活躍した。介護職員自体が被災し、十分な体制が構築できないところに多くの避難者を受け入れることは難しい。本県でもDCATを設置すべきではないか。

【答弁】福祉保健部長

県は災害時における要配慮者の福祉支援に向けた官民連携へのネットワークづくりについて、今後関係団体と協議を行うことにしている。その中で災害派遣チームに関しても具体策を含め検討したい。

福祉避難所の整備

【答弁】福祉保健部長
今回の熊本地震では、福祉避難所に指定されたところが機能をせず、災害弱者が厳しい環境で避難生活が強いられた。県内の福祉避難所の指定状況と受け入れ可能人数の設定状況は？

長崎県議会議員 山田ともこ 一般質問の主な内容

災害時応援協定

県は、災害時における協定を各団体と結んでいるが、他県で取組が進んでいる福祉レンタル事業者との協定が未締結である。要配慮者への支援用品には、介護用品、ストーマ用装具など多岐にわたる。県内の福祉レンタル事業者の協会と協定を結ぶことで、災害時にスムーズな支援が可能となるのではないか。

【答弁】福祉保健部長

受け入れ可能人数であるが、ベッドが既に入居者で埋まっている。今回もリビングや廊下などで避難生活を送られたようで、避難生活を送られたようである。熊本地震を教訓に人数設定を見直し、再点検を促してください。

【答弁】福祉保健部長

能人を事前に設定をしている福祉避難所は272力所で、合計6731名の規模で受け入れ可能な形となつていて、福地避難所の不足が課題となり、福祉避難所の量的確保のためには、全ての避難所において受け入れ可能な人員の事前設定が必要である。引き続き、市町に対し全ての福祉避難所ににおける受け入れ可能な人員の事前設定と、福祉避難所の量的確保について働きかけを行う。

防災士の資格取得

【答弁】福祉保健部長
長崎県では1119名、長崎県議会では、私も含め3名の議員が防災士の資格を取得している。大分県は、南海トラフによる津波リスクがあることから防災意識が高く、県議全員が防災士資格を取得しており、7648名の県民が資格を取得している。これは東京都の9942名に次ぐ多さであり、養成講座を長崎

放課後児童クラブの支援

【答弁】子ども政策局長
長崎県では放課後児童クラブに対して、母子家庭等助成事業を昭和57年に全国初の取組としてスタート。しかし、県の財政状況が厳しい中で廃止されるのではないかとの心配の声が多く寄せられている。この母子家庭が多いとされるひとり親家庭にとって、なくしてはならない助成だ。来年度以降の継続について県の見解は？

【答弁】子ども政策局長
今後の継続については、県の財政も厳しい状況ではあるが事業の必要性を踏まえ、実施主体である市町の意見も聞きながら予算編成の中で検討したい。

能人を事前に設定をしている福地避難所は272力所で、合計6731名の規模で受け入れ可能な形となつていて、福地避難所の不足が課題となり、福祉避難所の量的確保のためには、全ての避難所において受け入れ可能な人員の事前設定が必要である。引き続き、市町に対し全ての福祉避難所ににおける受け入れ可能な人員の事前設定と、福祉避難所の量的確保について働きかけを行う。

能人を事前に設定をしている福地避難所は272力所で、合計6731名の規模で受け入れ可能な形となつていて、福地避難所の不足が課題となり、福祉避難所の量的確保のためには、全ての避難所において受け入れ可能な人員の事前設定が必要である。引き続き、市町に対し全ての福祉避難所ににおける受け入れ可能な人員の事前設定と、福祉避難所の量的確保について働きかけを行う。